



ケンタ君

GEONET って何？
何か検索できるの？

全国の電子基準点のデータを収集・
解析・提供するシステムのこと、
実は縁の下の力持ちなんじゃよ！



マップ博士

近年、宇宙からの技術を用いた測量が急速に発達してきました。なかでも、アメリカのGPS（ジーピーエス）という人工衛星の登場によって、測量の手法は劇的に変わり、今ではこの人工衛星を使った測量が主流となりました。

皆さんは、[第7回（2017年2月）](#)でご紹介した電子基準点を覚えているでしょうか？

電子基準点とは、日本の準天頂衛星（みちびき）やGPSなどの人工衛星からの信号を片時も休まずにキャッチしている施設です。人工衛星による測量の時代において、三角点の代わりに位置の基準として利用されたり、地殻変動を調べるために活用されたりしています。電子基準点は、日本全国北から南まで約1,300点設置されています。2018年3月には、国会議事堂の前庭に、電子基準点「東京千代田」が設置されました。他の電子基準点と比べて高く、7mもあります。色も白く、他にはない、唯一の見た目の電子基準点になっています。是非、一度ご覧になってください。

実は、電子基準点だけでは、測量の基準や地殻変動の監視といった役割は果たせません。全国の電子基準点で取得されたデータは専用回線を使って国土地理院の中央局に次々と送られます。中央局では、全国の電子基準点のデータを記録、保存するとともに、データを日々解析し、電子基準点の位置を求めています。これらの保存されたデータや解析結果をウェブサイト等で配信することで、初めて測量の基準や地殻変動の監視に活用されます。

この全国の電子基準点と、中央局（データを収集、解析、提供するシステム）を合わせて、GEONETと呼んでいます。

GEONETは電子基準点で取得したデータを解析し、地殻変動監視に役立たせるための『縁の下の力持ち』なのです！

GEONET



(測地観測センター)